

こんにちは。嘱託員の村上です。

今年も残り1か月を切りましたね。「あおもり歴史トリビア」では東北本線の複線電化完了から50年、津軽線の全線開通60周年など、今年節目を迎えたさまざまなできごとについてご紹介してきました。そこで、今回は創立50周年を迎えた金沢小学校に関連する話題をお届けします。

金沢小学校は市南部の人口増加に対応するため、昭和43年(1968)4月1日に千刈小学校と甲田小学校の学区の一部を統合して開校しました。さらに、同月30日には大野小学校を統合して金沢小学校第二校舎としています。この第二校舎は翌年11月に閉鎖され、児童は本校へと移りました。



金沢小学校(昭和44年、広報広聴課蔵)

大野小学校というと、東大野1丁目(中央大橋の南方)にある学校を思い浮かべる方が多いと思いますが、実は金沢小学校と統合した大野小学校と現在の大野小学校は別の学校なのです。

金沢小学校と統合した大野小学校は明治9年(1876)に大野小学として大野村に開校しました。「あおもり歴史トリビア」第321号(平成30年8月31日配信)では、この学校に「農村幼稚園」が置かれていたことをご紹介しましたね。学校があった場所には現在大野市民センターがあります。昭和44年11月に金沢小学校第二校舎が閉鎖されたあと、旧校舎は大野公民館として昭和57年まで利用されました。

さて、市南部の人口増加に対応するために開校した金沢小学校でしたが、その後も人口増加は続き、児童数が増加していきました。さらに、同じく市南部にある浜田小学校でも児童数が増加したため、新しい小学校をもう1校設置することになりました。この時、複数の候補地の中から通学距離や将来の街づくりなどを検討した結果、東大野1丁目(当時の住所は大野字若宮)が選ばれました。

校名は南中学校に近いことから「南小学校」、若宮という小字から「若宮小学校」といった案も出されましたが、以前使われていた校名である「大野小学校」と決めました。そして、昭和55年4月1日に金沢小学校と浜田小学校の学区の一部を統合して現在の大野小学校が開校しました。



大野小学校周辺
(昭和 57 年撮影、国土地理院の空中写真)

一度なくなった校名が復活したというのは、長い歴史を持つ「大野小学校」という校名が地域の方々に愛されていたということでしょうね。

※今回の内容は『かおれ四季の風美しく』(青森市立大野小学校創立十周年記念事業協賛会 1990 年)などを参考にしました。